

単元名 ペったん コロコロ(造形遊び)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 写し方を工夫し、いろいろな形を見付けることができる。  
 (2) 写した形や色の面白さに気付く、思い付いたことを試し、写した形や色の面白さに気付くとともに、自分や友人の写した形からよさや面白さを感じることができる。  
 (3) 体全体を使って、いろいろな材料の形を写す活動を楽しもうとする。

## 標準的な展開例

01080302\_001

【準備等】 ロール紙や大きな画用紙、模造紙、ロール紙、ビニルシート、共同絵の具、トレイ、バケツ、表面が凸凹している材料（例：ローラー・ビー玉・おもちゃのタイヤ・スポンジ・木の葉・小枝・木切れ など）汚れてもよい服装、雑巾、緩衝材、片面ダンボール、テープの芯、ペットボトルキャップ など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 いろいろなものに、絵の具をつけて写して楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○持ってきた材料を見せ合い、絵の具をつけて写したらどのような形が残るか予想して発表する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな形ができるね。</li> <li>・同じ材料なのに押すところが違うと別の形になるんだね。</li> </ul> </li> <li>★いろいろなものに絵の具をつけて写してみよう</li> <li>○材料に絵の具を付けて、紙に写す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローラーでコロコロ</li> <li>・ローラーでひもを巻いてみる</li> <li>・手でペッタン</li> </ul> </li> </ul> <p>○さらに、思い付いたことを試し、いろいろな形を見付け新しい形をつくりだすことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重ねてペッタンしてみよう。</li> <li>・四角がつながると線路みたいだな。</li> <li>・形を組み合わせて、トンボにしたよ。</li> </ul> <p>○写したものの形や色のよさや面白さについて、感想や考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この部分は森みたい。</li> <li>・形が重なると面白いね。</li> <li>・いろいろな材料で写したら、楽しい形や色がでてきたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書1・2上 P.24, 25</li> <li>・児童の発表を受けて、実際に紙に写してみても意欲を高めさせる。</li> </ul> <p>・床の上にビニルシートを敷く。</p> <p>・ビニルシートの上にロール紙や大きな画用紙を数枚準備し、好きな紙の上で活動をさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P.63「かたちをうつそう」を見ながら基本的な写し方を指導する。</li> <li>・トレイに絵の具を何色か準備しておき、そこに材料を付けて、写すように指示する。</li> <li>・材料が汚れたら、バケツの水で洗わせる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ材料でも向きを変えたり、転がしてみたり、力加減を変えたりすることで写る形の感じが変わること気付くように助言する。</li> </ul> </li> </ul> <p>【評】材料を集めたり、持ってきた材料に色を付けて写したりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重ねて写したい場合は、前に写したところが乾いてから行うように指導する。</li> <li>・形を写しながら、思い付いたことを試し、写した形の面白さを見付けるよう促す。</li> <li>・写した形をよく見たり、時には離れて見たりすることで、イメージが広がることを知らせる。</li> </ul> <p>【評】自分の思いに合った形や使いたい色を思い付き、試す活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】紙に写す活動を通して、いろいろな形や色を見付け、材料の付け方や方法を工夫する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶然にできた形や色から何に見えるかを考えて楽しませる。</li> <li>・写し方の工夫や新しくつくり出された形についても児童が気付けるよう助言をする。</li> <li>・気に入った部分に当てる額縁のようなものを持つてみることも有効である。</li> </ul> <p>【評】自分や友人の表現のよさや面白さを感じ取り、気付いたことを伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

図画工作科におけるプログラミング的思考の育成  
 自分が意図する活動を実現するための①分解（表したい作品を、構成する要素に分解する）②置換（要素を形や色に置き換える）③組合せ（形や色の組合せや順番を考える）④検証（組合せを検証して意図に近づける）といったことを論理的に考えていく力を育成する。その他の題材においても、上記の事柄を意識しながら学習活動を工夫し、プログラミング的思考の育成に努めたい。  
 参考・・・日本文教出版株式会社<http://www.nichibun-g.co.jp/>